

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	高梨 芳郎
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士候補資格取得者が博士後期課程での研究成果を整理して英語教育学での博士論文を完成できるように各期15回の授業（リサーチワーク）を行う。博士論文の審査基準にしたがって、論文全体のテーマ・構成・研究課題から指導をはじめ、先行研究・研究方法・研究結果・考察・文献などについて原稿の検討と修正を行い、博士論文を完成させる。</p> <p>両学期とも、初回から第13回まで、第15回の授業は対面で行う。第14回はオンライン（Google Meetでの同時双方向型）で行う。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にGoogle MeetのURLを連絡する。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>(1期)</p> <p>第1回 博士論文のテーマ設定  第2回 博士論文全体の構成  第3回 博士論文の審査基準  第4回 先行研究の整理  第5回 先行研究の検討  第6回 研究方法の整理  第7回 研究方法の検討  第8回 研究結果の整理  第9回 研究結果の検討  第10回 結果と図表の検討  第11回 研究結果の考察  第12回 今後の課題の整理  第13回 引用文献の整理  第14回 原稿の完成と発表  第15回 課題の整理</p> <p>(2期)</p> <p>第1回 博士論文のテーマ設定  第2回 博士論文全体の構成  第3回 博士論文の審査基準  第4回 先行研究の整理  第5回 先行研究の検討  第6回 研究方法の整理  第7回 研究方法の検討  第8回 研究結果の整理  第9回 研究結果の検討  第10回 結果と図表の検討  第11回 研究結果の考察  第12回 今後の課題の整理  第13回 引用文献の整理  第14回 原稿の完成と発表  第15回 課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況を総合的に判断して行う。
------------------------------	-------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。
---	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	古村 由美子
----------------	--------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士候補資格取得者が博士後期課程での研究成果を整理して英語教育学での博士論文を完成できるように各期15回の授業（リサーチワーク）を行う。博士論文の審査基準にしたがって、論文全体のテーマ・構成・研究課題から指導をはじめ、先行研究・研究方法・研究結果・考察・文献などについて原稿の検討と修正を行い、博士論文を完成させる。両学期とも、第14回の授業はオンライン（Zoomでの同時双方向型）で行う。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にZoomのURLを連絡する。
--	--

授業計画 / Schedule	<p>(1期)</p> <p>第1回 博士論文のテーマ設定  第2回 博士論文全体の構成  第3回 博士論文の審査基準  第4回 先行研究の整理  第5回 先行研究の検討  第6回 研究方法の整理  第7回 研究方法の検討  第8回 研究結果の整理  第9回 研究結果の検討  第10回 結果と図表の検討  第11回 研究結果の考察  第12回 今後の課題の整理  第13回 引用文献の整理  第14回 原稿の完成と発表  第15回 課題の整理</p> <p>(2期)</p> <p>第1回 博士論文のテーマ設定  第2回 博士論文全体の構成  第3回 博士論文の審査基準  第4回 先行研究の整理  第5回 先行研究の検討  第6回 研究方法の整理  第7回 研究方法の検討  第8回 研究結果の整理  第9回 研究結果の検討  第10回 結果と図表の検討  第11回 研究結果の考察  第12回 今後の課題の整理  第13回 引用文献の整理  第14回 原稿の完成と発表  第15回 課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況を総合的に判断して行う。
------------------------------	-------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。参考書については初回の授業で説明する。
---	---------------------------------------

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	Duane Kindt
----------------	-------------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士候補資格取得者が博士後期課程での研究成果を整理して博士論文を完成できるようにリサーチワークを行う。博士論文の審査基準にしたがって、論文全体のテーマ・構成・研究課題から指導をはじめ、個々の研究課題ごとに先行研究・研究方法・研究結果・考察・文献などについて原稿の検討と修正を行い、博士論文を完成させる。</p> <p>This course supports doctoral candidate's research work to organize and present their research results and complete their doctoral dissertation. We will start with guidance for ongoing development of the dissertation, and examine and revise the manuscript for previous research, research methods, research results, considerations, literature, etc. Each of the following sections will be reviewed and adjusted to the candidate's needs.</p>
--	--

授業計画 / Schedule	<p>第1回 博士論文全体の構成1 (Review of overall Composition 1)</p> <p>第2回 博士論文全体の構成2 (Review of overall Composition 2)</p> <p>第3回 先行研究と研究仮説1 (Updating research &amp; hypothesis 1)</p> <p>第4回 先行研究と研究仮説2 (Updating research &amp; hypothesis 2)</p> <p>第5回 研究方法と研究結果1 (Updating research method &amp; results 1)</p> <p>第6回 研究方法と研究結果2 (Updating research method &amp; results 2)</p> <p>第7回 研究方法と研究結果3 (Updating research method &amp; results 3)</p> <p>第8回 結果の分析・整理1 (Updating analysis &amp; organization of results 1)</p> <p>第9回 結果の分析・整理2 (Updating analysis &amp; organization of results 2)</p> <p>第10回 研究結果の考察と課題1 (Updating discussion &amp; issues of research results 1)</p> <p>第11回 研究結果の考察と課題2 (Updating discussion &amp; issues of research results 2)</p> <p>第12回 引用文献の整理1 (Updating cited references 1)</p> <p>第13回 引用文献の整理2 (Updating cited references 2)</p> <p>第14回 (Online) 原稿の完成と発表 (Completion &amp; announcement of manuscript)</p> <p>第15回 原稿の完成と発表 (Completion &amp; announcement of manuscript)</p> <p>第16回 Review of 1st-term thesis guidance</p> <p>第17回 先行研究と研究仮説1 (Finalizing research &amp; hypothesis 1)</p> <p>第18回 先行研究と研究仮説2 (Finalizing research &amp; hypothesis 2)</p> <p>第19回 先行研究と研究仮説3 (Finalizing research &amp; hypothesis 3)</p> <p>第20回 研究方法と研究結果1 (Finalizing research method &amp; results 1)</p> <p>第21回 研究方法と研究結果2 (Finalizing research method &amp; results 2)</p> <p>第22回 研究結果の分析・整理1 (Finalizing organization &amp; analysis of research results 1)</p> <p>第23回 研究結果の分析・整理2 (Finalizing organization &amp; analysis of research results 2)</p> <p>第24回 研究結果の考察と課題1 (Finalizing research results discussion &amp; issues 1)</p> <p>第25回 研究結果の考察と課題2 (Finalizing research results discussion &amp; issues 2)</p> <p>第26回 引用文献の整理1 (Finalizing cited references 1)</p> <p>第27回 引用文献の整理2 (Finalizing cited references 2)</p> <p>第28回 原稿の完成と発表 (Completion &amp; announcement of complete manuscript)</p> <p>第29回 (Online) 博士論文全体の検討 (Examination of complete doctoral dissertation)</p> <p>第30回 博士論文全体のまとめと発表 (Summary &amp; presentation of doctoral dissertation)</p> <p>*The 14th class will be taught online in each semester.</p>
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。Comprehensive assessment for effort in the course, task results, and grades for the report.
------------------------------	--

教科書(参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。There is no textbook. Materials will be distributed. 参考書については初回の授業で説明する。Reference sources will be recommended from the first class.
---	---

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 日本語学・日本語教育学		

授業担当教員/Faculty	坂本 正
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程 2、3 年次の「研究指導」までに、研究テーマ、研究課題、先行研究の整理ならびに問題点の指摘、実行可能な調査方法の決定、収集した言語データ分析方法し、調査を開始し、言語データを分析し始めて、初稿まで完了した。今学期は更に継続して、分析データの解釈の妥当性を探究し、わかりやすい博士論文全体の構成を再考することを目標にする。
--	---

授業計画 / Schedule	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 論文全体のフローチャートの作成</li> <li>2) 第 1 章「はじめに」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>3) 第 2 章「先行研究」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>4) 第 3 章「調査」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>5) 第 4 章「結果」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>6) 第 5 章「考察」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>7) 第 6 章「結論」の原稿のフィードバックと加筆修正</li> <li>8) 図表、参考文献リスト、注、資料のフィードバックと加筆修正</li> <li>9) 第 1 章「はじめに」の修正原稿のフィードバック</li> <li>10) 第 2 章「先行研究」の修正原稿のフィードバック</li> <li>11) 第 3 章「調査」の修正原稿のフィードバック</li> <li>12) 第 4 章「結果」の修正原稿のフィードバック</li> <li>13) 第 5 章「考察」の修正原稿のフィードバック</li> <li>14) 第 6 章「結論」の修正原稿のフィードバック</li> <li>15) 図表、参考文献リスト、注、資料の修正原稿のフィードバック</li> <li>16) なし</li> </ol>
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	博士論文の進捗状況と内容の深化・進化の程度
------------------------------	-----------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	特に無し
---	------

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	合併講義
授業名 / Subject	論文指導 グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	鈴木 茂
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程での研究を深め、円滑に研究が実施できるようにリサーチワークを行う。研究課題ごとに研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく。
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回: 授業の目標と概要</p> <p>第2回: 研究テーマの検討</p> <p>第3回: 先行研究の発掘</p> <p>第4回: 先行研究の整理</p> <p>第5回: 先行研究の検討</p> <p>第6回: 先行研究の決定</p> <p>第7回: 研究仮説の設定</p> <p>第8回: 研究仮説の討議</p> <p>第9回: 研究方法の検討</p> <p>第10回: データ収集(予備研究)の検討</p> <p>第11回: データ収集(本研究)の検討</p> <p>第12回: 研究計画策定</p> <p>第13回: 予備研究の対象地域</p> <p>第14回: 予備研究の調査実施計画設定</p> <p>第15回: 予備研究の調査実施計画発表</p> <p>第16回: 予備研究調査の報告</p> <p>第17回: 予備研究調査結果の整理</p> <p>第18回: 予備研究調査結果の検討</p> <p>第19回: 予備研究調査結果の考察</p> <p>第20回: 予備研究調査結果の課題</p> <p>第21回: 予備調査報告書の作成</p> <p>第22回: 対象地域、仮説の見直し</p> <p>第23回: 研究方法の見直し</p> <p>第24回: 研究計画の見直し</p> <p>第25回: 本研究の調査実施計画の設定</p> <p>第26回: 本研究の調査実施計画の検討</p> <p>第27回: 本研究の調査実施計画の再検討</p> <p>第28回: 本研究の調査実施計画の最終決定</p> <p>第29回: 本研究の調査実施計画の発表</p> <p>第30回: 本研究の調査実施計画の課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の報告と討論に基づいて評価します。
------------------------------	---------------------

教科書(参考書) / Textbook/Reference Materials	<p>教科書は使いません。</p> <p>参考書</p> <p>伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001年</p> <p>小熊英二『論文の書き方』講談社現代新書、2022年</p> <p>久米郁男『原因を推論する』有斐閣、2013年</p> <p>佐藤郁哉『質的データ分析法』新曜社、2008年</p> <p>高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書、1979年</p>
---	---